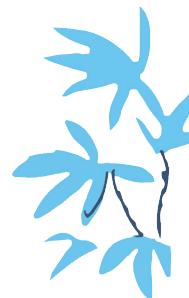
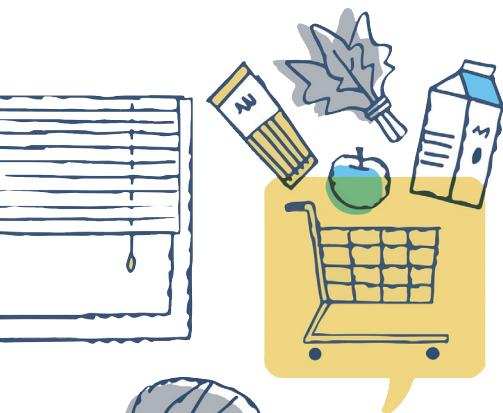


株式会社システナ

証券コード：2317



第39期 2020年4月1日～2020年9月30日

# 中間株主通信

デジタル社会を、幸せな社会へ。  
ITサービスのシステナ



 systemena



トータル・ソリューション・サービス

企画・提案

設計

開発・構築

導入

教育

ヘルプデスク

運用・保守

# 企画から保守までのトータル・ソリューション・サービスを提供しています。

## ソリューションデザイン事業



自動運転・車載システム、通信事業者サービス、社会インフラ関連システム、スマートフォンやWebアプリなどの開発、ロボット・人工知能・IoTを使った組み込み開発など各種システム、サービスの企画から設計・開発・検証・運用までを一貫してサポートしています。

主要顧客：通信キャリア、通信機器メーカー、  
自動車メーカー、インターネットビジネス企業

## フレームワークデザイン事業



金融機関（損保・生保・銀行）をはじめ、産業系・公共系などの幅広い業種向けに、基幹・周辺システムの開発および基盤系システムの設計・構築を行っているほか、法人向けにプロダクト導入サービス（RPA・BIツールなど）の企画・開発・提供をしています。

主要顧客：損保、生保、銀行、一般事業法人

## ITサービス事業



システムやネットワークの運用・保守・監視、ヘルプデスク・ユーザーサポート、データ入力、大量出力など、ITに関する様々なアウトソーシングサービスを行っています。

主要顧客：電機メーカー、銀行、外資系企業、官公庁

## ソリューション営業



サーバー、パソコン、周辺機器、ソフトウェアなどのIT関連商品を企業向けに販売しています。また、基盤構築、仮想化など、IT機器に関連した最新のサービスを提供しています。

主要顧客：電機メーカー、  
外資系企業をはじめとする一般事業法人

## クラウド事業



自社サービス『Canbus./キャンバスドット』、『Cloudstep』、『Web Shelter』の提供および『G Suite』、『Microsoft 365』などクラウド型サービスの提供・導入支援を行っています。

主要顧客：一般事業法人  
(中堅から大企業まで)

## 海外事業



モバイル通信関連技術支援、開発・検証支援、各種ソリューションの提供、最新技術やサービスの動向調査および事業化を行っています。

主要顧客：日系企業、アメリカ企業、  
通信キャリア、通信機器メーカー

## 投資育成事業



子会社（株式会社ONE Tech Japan）を通じてIoTサービスを中心とした新規事業を行っています。  
子会社（株式会社GaYa）を通じて、スマートフォン向けソーシャルゲームの企画・開発・提供を行っています。

# ■ 株主の皆様へ — 第39期第2四半期の連結業績概況

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第39期第2四半期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の概況につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

宜しくお願い申し上げます。

2020年12月

代表取締役社長 三浦 賢治

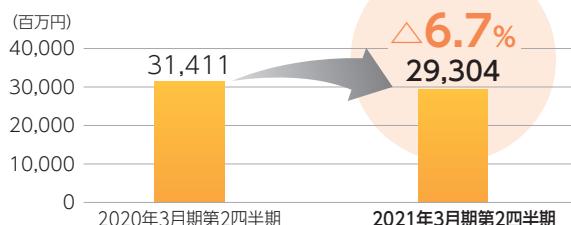


## 業績概況

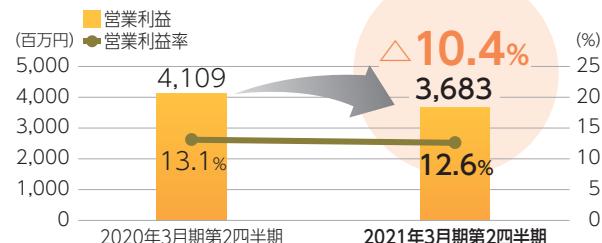
売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

当第2四半期は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた緊急事態宣言により経済は大きく落ち込んだものの、リモート営業およびテレワークによるITサポートとソフトウェア開発支援などにより総稼働率90%以上を目標として事業活動を推進した結果、売上高は前年同期比6.7%減の29,304百万円、営業利益は同10.4%減の3,683百万円となりました。

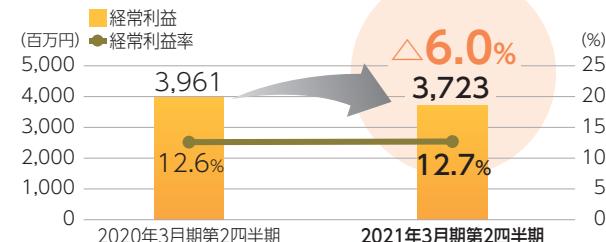
### ● 売上高



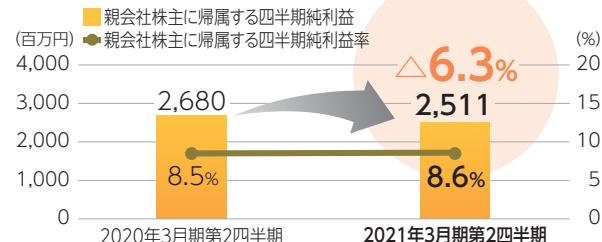
### ● 営業利益(率)



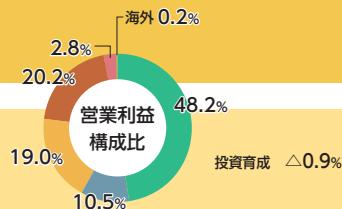
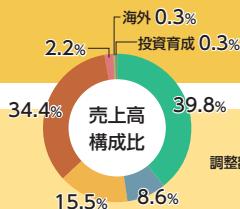
### ● 経常利益(率)



### ● 親会社株主に帰属する四半期純利益(率)



## 各事業の概況



調整額 △1.1%

売上高

営業利益

ソリューションデザイン

11,664百万円

1,774百万円

**車載**:得意とする車載インフォテインメント関連が順調に推移し、モビリティサービス関連での受注が伸張。当分野は業界の変革期でもあり、長期的な重点注力分野として更なる付加価値の向上を目指しています。

**社会インフラ**:5G通信のインフラ整備業務で売上を大きく伸ばしました。引き合いも増加傾向にあり、引き続き5G通信関連分野へ注力していきます。

**ネットビジネス**:通信キャリアでの5Gに向けたサービス構築や、キャッシュレス決済、個人データの利活用に関連するシステム開発・検証で堅調に推移しています。

**スマートデバイス/ロボット/AI**:スマートフォン開発業務は「ロボット・情報家電」、「人工知能(AI)」、「IoT関連機器」へシフトし、品質検証業務は収益性の高いネットビジネス、社会インフラへのシフトを推進しています。

**業務システム**:テレワークなど働き方の急速な変化が求められる中、システム対応に迫られた企業からの引き合いが旺盛な状況でした。

当社の新型コロナウイルス感染症への対応としては、テレワークへのシフトにより事業継続に向けてリスクを低減できている状況です。しかしながら、テレワークでは対応が難しい業務支援の一部業務で一時的に受注延伸が発生しうる状況であり、ソーシャルディスタンス確保やオフピーク通勤などリスクを低減しつつ事業を推進しています。また、顧客の経費削減や投資抑制の影響による受注延伸も短期的には懸念されます。一方、ネットビジネスや5G通信関連では、今日の状況でも引き合いは堅調に推移しています。このような状況の中、当事業では選択と集中を行い、より需要の大きな分野へのシフトを目指しています。

フレームワークデザイン

2,515百万円

387百万円

金融分野は、生損保および銀行の保守開発プロジェクトは体制を維持するも、新型コロナウイルス感染拡大の影響による新規案件の引き合い減少、延伸、中断は継続しているため、新規業務系開発や基盤構築(クラウド)案件を中心に受注活動を推進しました。新規サービス分野では、前期に続き業務自動化(RPA)ソリューションのライセンス販売を軸にしたプロダクトバンダーとの協業に注力しました。

ITサービス

4,553百万円

700百万円

従来の人員動員型のサービス提供で培ったノウハウをもとに、高付加価値で、より顧客の事業継続に直結した一括請負型のサービス提供へシフトし、事業拡大と収益性向上を図りました。新型コロナウイルス感染症への対応としては、常駐型中心のワークスタイルからリモートでのサービス提供も含め柔軟に対応できる体制を構築し、新たな市場・ニーズに対応する商材を強化することで顧客数と売上を拡大しています。

売上高

営業利益

ソリューション営業

10,086百万円

745百万円

新型コロナウイルス感染症対策としてテレワークが浸透する中、テレワーク環境の整備を支援すべく必要な機器の販売、構築、導入支援など、幅広いサービスを提供してきましたが、前期に高い伸びとなったWindows7搭載PC更新需要の反動減により減収減益となりました。

クラウド

655百万円

104百万円

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け新規案件受注活動は一時的に停滞したものの、テレワーク環境の構築を検討している企業から「Canbus./キャンバスドット」、「G Suite」、「Cloudstep」の引き合いが増加しています。

海外

91百万円

7百万円

アメリカ子会社は、新型コロナウイルス感染症拡大の中にあっても、積極的な営業活動により、2019年9月以来単月営業黒字が継続しています。また、アメリカ子会社の投資先であるワンテック社は、日系企業のデバイスやセンサーに同社の「MicroAI™」を載せ、アライアンスによる共同営業展開なども活発に行っています。さらに、世界各国の中央銀行、大手金融機関、軍事機関などに多くの導入実績があるストロングキー社の「暗号化と次世代認証セキュリティ・ソリューション「Tellaro」は、製品の高い信頼性から導入企業が東京海上日動火災保険株式会社のサイバーリスク保険の割引適用になるだけでなく、サイバーリスク保険の販売においてグローバルで高い専門性を持つマーシュジャパン株式会社と3社間で共同販売の取り組みを開始しました。これらをテコとして、日本のみならず、アジア・アメリカでの共同ビジネスに弾みをつけていきます。

投資育成

86百万円

△35百万円

株式会社ONE Tech Japanは、ワンテック社のIoTエッジコンピューティングAI技術「MicroAI™」とIoTソリューションの開発を行っています。前四半期から取り組んでいる食品工場への導入のほか、他の企業への提案活動も推進しており、アメリカ子会社とワンテック社と共にAI技術の展開を継続して行っています。ゲームコンテンツの企画・開発・運営を行う株式会社GaYaは、当第2四半期にスマートフォン向けゲームアプリ「競馬伝説NextBlood!」をリリースしました。今後もゲーム内コンテンツの拡充に向け、継続して追加開発を行っていきます。

「ITのこれから」を牽引する!

ALLシステナの総合窓口  
ソリューション営業本部

# ワンストップで最適なSIサービスを



8,000社のお客様の  
メインパートナーをめざして

ソリューション営業本部  
取締役 兼 上席執行役員 ソリューション営業本部長 田口 謙

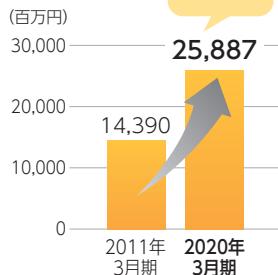
ソリューション営業本部は、各事業本部と連携してシステナの8,000社を超えるお客様の課題を解決する営業部隊です。様々なIT環境をワンストップでお客様に提供するSIサービス事業で売上を伸ばしてきましたと語るのには田口本部長。

10年程前はITプロダクトの販売がメインの組織でしたが、そこにテクニカルな部分にも対応できるよう専任技術部隊を立ち上げて増員・強化を図ってきた結果、今ではハードウェアからクラウド、そしてハイブリッドシステムなど、様々なSIサービスの提供が可能な組織となりました。お客様と一緒に将来像を描きながら、将来像を実現可能とするサービスをALLシステナで創り上げていく。これができるのもシステナの強みです。

今後はオンプレミス、クラウド、セキュリティ、その上に乗るアプリケーションなど、お客様のIT環境はより複雑化し、SI業務の増加も見込まれます。既存のお客様も、システナのサービスをすべてご利用いただいているわけではありません。今後もお客様の声に耳を傾け、お客様にとっての価値を創造し、サービスメニューの拡充を図ることで、中期経営計画におけるSIサービス売上比率30%という目標も十分に達成できるとしています。本部のスローガン「お客様のメインパートナーとなる」の実現に向け、着実に歩みを進めます。

ココに注目!  
成長の伸びしろが  
グリーンとアップ!

売上高



営業利益



営業利益率



60万アイテムを超える取引商品の中から、最適な商品をご提供

ITプロダクト  
販売

24時間365日検索・見積可能な電子商取引システム

システナリンク  
(BtoB購買システム)

Microsoft365やAdobe Creative Cloudなど様々なSaaSにより働き方改革の推進や業務効率化をご支援

SaaS  
サービス

システム導入後の操作方法や設定変更手順について遠隔でエンジニアがサポート

よろずサポート  
サービス

ALL

※2011年3月期(合併初年度)から2020年3月期までの数値です。

ソリューション営業本部は、システナの各事業部門と連携し、IT周辺のプロダクト販売から基盤構築、クラウド、運用・保守までワンストップで提供するALLシステナの総合窓口です。技術力に長けたプリセールスがおお客様の課題をきめ細かく掘り起こし、最適なソリューションをご提案しています。

コンサルティング  
サービス

テレワークなど新たな市場のニーズに素早く柔軟に対応できるITインフラをご提案

サーバ仮想化  
ソリューション

ハイパーコンパジドなど、多彩なプランによりお客様の円滑な仮想化導入をサポート

ストレージ  
ソリューション

AIや重複排除機能を活用してバックアップ環境や運用の課題を効率的に改善

クラウド  
ソリューション

IaaSやPaaSとオンプレミスと連携したハイブリッドクラウド環境の導入を支援

システナ

技術者と営業をつなぎ  
真の課題を引き出す



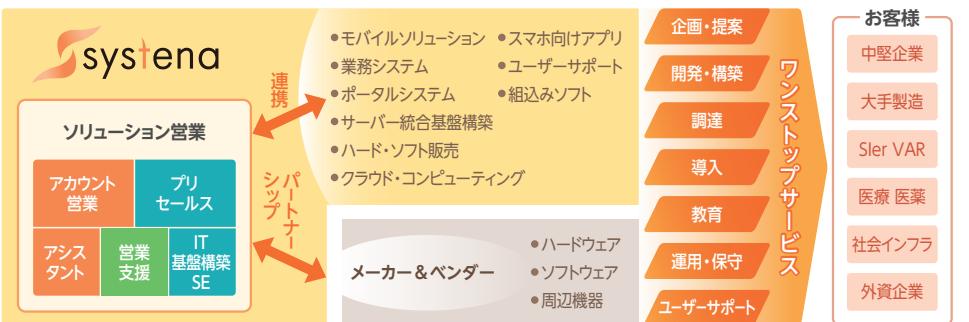
ソリューション営業本部  
ソリューション推進部 プリセールスグループ リーダー 瀬尾 知宏

プリセールスは、営業とともにお客様からご要望を聞き出し、技術支援をしながら課題を解決する、営業と技術者の橋渡し役。幅広い知識で課題に柔軟に対応することが求められます。プリセールスグループの瀬尾もプログラマーからエンジニアまで幅広い業務経験を積んでいますが、「単にハイスペックな構成がお客様のベストとは限らない」と言います。「重要なのは真の課題を引き出し、それを解決できる提案であること。お客様の業務内容はもちろん、IT担当部門の規模や運用体制によっても提案は変わります」。このベストマッチの提案が、SI事業を推進しているのです。

さらに今期から新たなサービスを開発して新規顧客開拓につなげる取り組みも始めています。「Webマーケティングも活用し、未開拓の顧客層に情報を発信します。自分たち主導のプロジェクトでも売上に貢献していきたいです」。技術者視点の新たなサービスで、更なる新規案件、新規顧客の獲得を狙っていきます。

ココが  
強み!

システナの  
ワンストップ体制



ソリューション営業本部の  
今後の活躍に  
ご期待ください!



## ■ 財務諸表 (連結)

### 四半期連結貸借対照表 (要約)

(単位: 百万円)

	当第2四半期末 2020年9月30日現在	前期末 2020年3月31日現在
<b>流動資産合計</b>	<b>29,984</b>	<b>30,840</b>
現金及び預金	16,926	14,925
受取手形及び売掛金	10,962	13,883
その他	2,095	2,031
<b>固定資産合計</b>	<b>4,945</b>	<b>5,115</b>
有形固定資産	866	836
無形固定資産	310	303
投資その他の資産	3,768	3,976
<b>資産合計</b>	<b>34,930</b>	<b>35,956</b>

	当第2四半期末 2020年9月30日現在	前期末 2020年3月31日現在
<b>負債合計 ①</b>	<b>10,464</b>	<b>13,000</b>
流動負債	10,339	12,894
固定負債	125	106
<b>純資産合計 ②</b>	<b>24,465</b>	<b>22,955</b>
株主資本	24,278	22,736
資本金	1,513	1,513
資本剰余金	6,045	6,045
利益剰余金	21,771	20,232
自己株式	△5,052	△5,055
その他の包括利益 累計額合計	△145	△81
非支配株主持分	332	300
<b>負債純資産合計</b>	<b>34,930</b>	<b>35,956</b>



### 財務諸表に関するトピックス

- ① 負債合計は、買掛金1,978百万円の減少、未払法人税等182百万円の減少、賞与引当金159百万円の減少により、前期末と比較して2,535百万円減少しました。
- ② 純資産は前期末と比較して1,509百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2,511百万円、剰余金の配当972百万円によるものです。自己資本比率については、前期末と比較して6.1ポイント上昇し69.1%となりました。

## 四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	当第2四半期 自2020年4月1日 至2020年9月30日	前第2四半期 自2019年4月1日 至2019年9月30日
売上高	29,304	31,411
売上原価	22,375	24,283
売上総利益	6,928	7,128
販売費及び一般管理費	3,245	3,019
営業利益	3,683	4,109
経常利益	3,723	3,961
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,511	2,680



## 通期業績予想(連結)

2020年5月12日に公表いたしました通期業績予想に修正はございません。

(単位:百万円)

	当期 通期業績予想	前期 通期実績	増減率(%)
売上高	62,227	64,552	△3.6%
営業利益	7,634	8,163	△6.5%
経常利益	7,370	7,871	△6.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,967	5,471	△9.2%



## 配当について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識しており、安定配当の継続をベースとした上で、経営成績に応じた利益配分を行うことを基本方針としています。

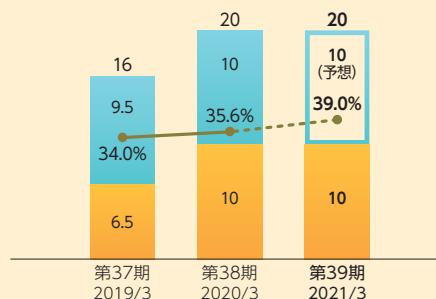
具体的には、各期の業績および財務状況などを勘案して、連結配当性向40%を目標に、株主の皆様への利益還元策を積極的に行っていきます。

上記の方針のもと、当期の中間配当は、公表のとおり1株当たり10円とさせていただきます。

当期の期末配当につきましても、同様に1株当たり10円を予定しています。

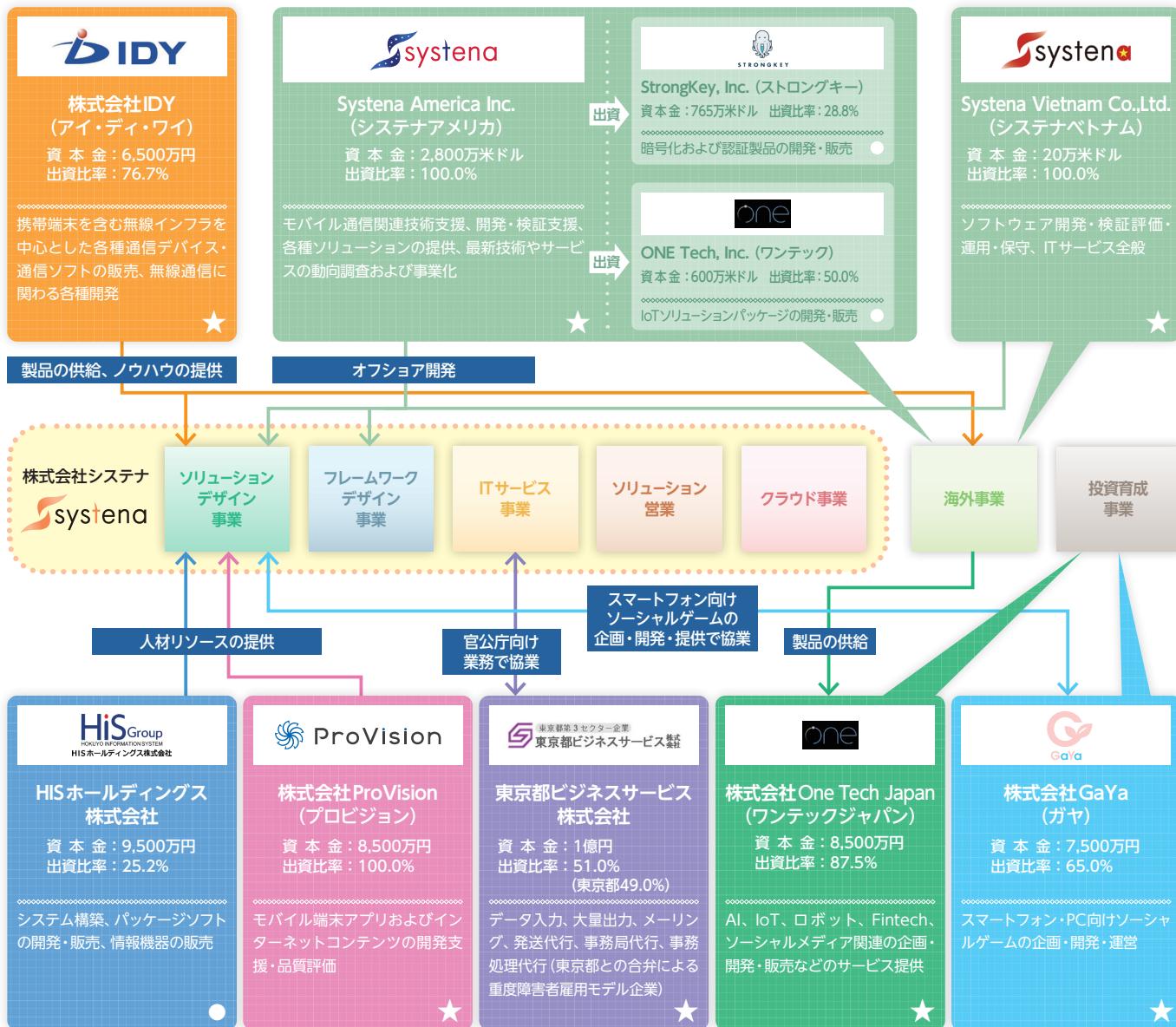
## 1株当たり配当金の推移(単位:円)

■ 中間配当 ■ 期末配当 ... 連結配当性向



# ■ グループ会社概要 (2020年9月30日現在)

グループ会社との連携による総合力の強化により、事業の拡大を図っています。



★印は連結子会社、●印は持分法適用関連会社

# ■ 会社の概況 (2020年9月30日現在)

## 会社概要

社名	株式会社システナ
設立	1983 (昭和58) 年3月
資本金	15億1,375万円
従業員数	単体：2,865名 連結：3,941名
加盟団体	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム (MCPC) Oracle Partner Network 日本コンピュータシステム販売店協会 (JCSSA) 情報サービス産業協会 (JISA) 日本情報技術取引所 (JIET) JASPAR (Japan Automotive Software Platform and Architecture) MONETコンソーシアム

## 役員

代表取締役会長	逸見 愛親
代表取締役社長	三浦 賢治
常務取締役	甲斐 隆文
常務取締役	河地 伸一郎
取締役兼上席執行役員	田口 誠
取締役兼上席執行役員	藤井 宏幸
取締役兼上席執行役員	石井 文雄
取締役 (社外)	鈴木 行生
取締役 (社外)	小河 耕一
常勤監査役 (社外)	菱田 亨
監査役 (社外)	中村 嘉宏
監査役 (社外)	阿田川 博
監査役 (社外)	徳尾野 信成

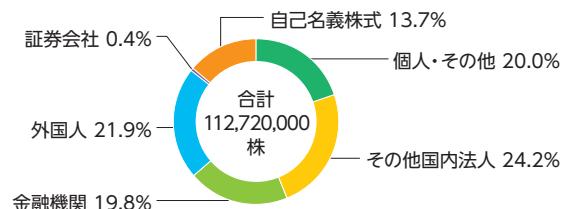
## 株式の状況

発行可能株式総数	369,600,000株
発行済株式の総数	112,720,000株
株主総数	9,523名

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
SMSホールディングス有限会社	25,916,800	22.99
株式会社システナ (自己株式)	15,467,812	13.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	7,079,400	6.28
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	6,415,600	5.69
システナ社員持株会	2,603,300	2.30
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,335,908	2.07
株式会社日本カストディ銀行 (信託口9)	1,964,100	1.74
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	1,860,612	1.65
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,504,682	1.33
株式会社日本カストディ銀行 (信託口5)	1,458,800	1.29

## 所有者別株式分布状況



ホームページのご案内 <https://www.systema.co.jp/>

Facebookのご案内 <https://www.facebook.com/systema.servicesolution/>

詳細なIR情報をはじめ、サービスのご案内、コンプライアンスへの取り組みなど最新の情報をご覧いただけます。ぜひご利用ください。



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当	毎年9月30日
	なお、その他必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。	
単元株式数	100株	
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
電話照会先	TEL: 0120-782-031 (フリーダイヤル)	
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部	
証券コード	2317	
公告方法	電子公告により、当社ホームページ ( <a href="https://www.systema.co.jp/">https://www.systema.co.jp/</a> ) に掲載いたします。ただし、電子公告を行うことができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	

### 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払いのお申出先について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL: 0120-782-031 受付時間 平日 9:00～17:00

## 株式会社システナ

### 本社

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング14F  
TEL: 03-6367-3840 (代表) FAX: 03-3578-3012 (代表)

### 横浜事業所

〒220-8123 横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号 横浜ランドマークタワー23F  
TEL: 045-640-1401 FAX: 045-640-1461

### 大阪支社

〒530-0013 大阪市北区茶屋町19番19号 アプローチタワー18F  
TEL: 06-6376-3537 FAX: 06-6359-7012

### 名古屋事業所

〒453-0002 名古屋市中村区名駅四丁目23番13号 名古屋大同生命ビル14F

### 名古屋営業所

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目2番7号 名古屋東宝ビル4F  
TEL: 052-209-5460 FAX: 052-209-5463

### 札幌開発センター

〒060-0042 札幌市中央区大通西三丁目6番地 北海道新聞社ビル北一条館4F  
TEL: 011-208-1012

### 福岡開発センター

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前二丁目17番8号 安田第4ビル4F  
TEL: 092-477-7401

### 広島開発センター

〒730-0015 広島市中区橋本町10番10号 広島インテス4F  
TEL: 082-577-1100

### 竹芝デザインスタジオ

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目9番18号 国際浜松町ビル2F

### 川崎デザインスタジオ

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1番地14 キューブ川崎5F

### 神戸イノベーションラボ

〒650-0032 神戸市中央区伊藤町119 大樹生命神戸三宮ビル3F



この印刷物は、  
FSC® 森林認証紙と  
植物油インキを使用して  
印刷されています。



この印刷物は、E3PAのゴールド基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています  
E3PA: 環境保護印刷推進協議会  
<http://www.e3pa.com>



この印刷物は、風力で発電されたグリーン電力にて刷版を出力、印刷されています。

※当印刷物の刷版出力に必要な電力量を0.9kWh、10,600部を印刷するのに必要な電力量を81kWhと計算しています